

紙絵の届ころ展

永由美とサークルはな椿



夕日に染まる

散居村の水田

影絵のよりに浮かび

黄金色に

輝く

平成三十年

七月七日(土)〜十一月二十五日(日)

◆ 開館時間 午前9時〜午後6時(入館は、午後5時30分まで)

◆ 休館日 水曜日・第三木曜日

◆ 入館料 一般100円(高校生以上)・団体80円(20名以上)

※ 障害者手帳等をお持ちの方、その介助者一名は無料

日本絵手紙協会公認講師の二永由美子さんと絵手紙教室「サークルはな椿」の皆さんによる絵手紙展です。
「へたでいい へたがいい」という協会のモットーから、その輪は広まり、今や日本での絵手紙人口は、150万人ともいわれ、増え続けています。絵手紙は、人と人、ところところをつなぐものです。絵手紙は、相手の笑顔を思い浮かべながら、語りかけるように、自分のこころの想うがままに描きます。

携帯電話など情報端末でのやりとりが日常となった昨今、手づくりのこころの贈り物、こころの絆のやりとりをゆっくりとご覧いただけたら幸いです。



ふたなが ゆみこ
二永 由美子

【日本絵手紙協会公認講師】
【南砺市在住】

線の変化 墨色の変化 彩色のリズム…
それらが心を伝えることばを助けてくれます。

上手に書こうと思うことなく、紙と筆で遊んできました。心にあるがままに描いた小さなハガキをポストマンが運んでくれて、また私のもとへ帰って来ます。いっぱい、いっぱいの想いを載せて…

時には笑いを誘い、時には涙をこみあげながら、それを読みます。

心を通わせる絵手紙があったから、そして絵手紙で交流する多くのなかまができたから、今は、穏やかに毎日を楽しんで過ごしています。



サークル はな椿



かまえ せつこ
構 勢津子
砺波市在住



「へたでいい へたがいい」
に魅せられた、温厚で愉快的なメンバーです。新手法での勉強も随時に加えられ、うさぎとかめの如く、ゆっくりと周りの景色を眺めながら、私達なりに一步一步前進しています。
(サークルリーダー - 構 勢津子)



のむら しずこ
野村 志津子
南砺市在住

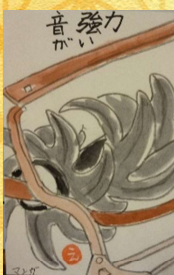


ばんざわ きょうみ
鳩澤 京見
南砺市在住



ひろせ えつこ
広瀬 悦子
砺波市在住

民具を描いた絵手紙



年賀状教室のご案内



日時 11月17日(土)13:30～
(2時間程度)

場所 となみ散居村ミュージアム
民具館 多目的室

持ち物 材料費 500円
※別途入館料が必要

定員 20名(事前申し込みが必要)

※ お問い合わせ、体験教室参加のお申し込みは、となみ散居村ミュージアム (0763) 34-7180 まで